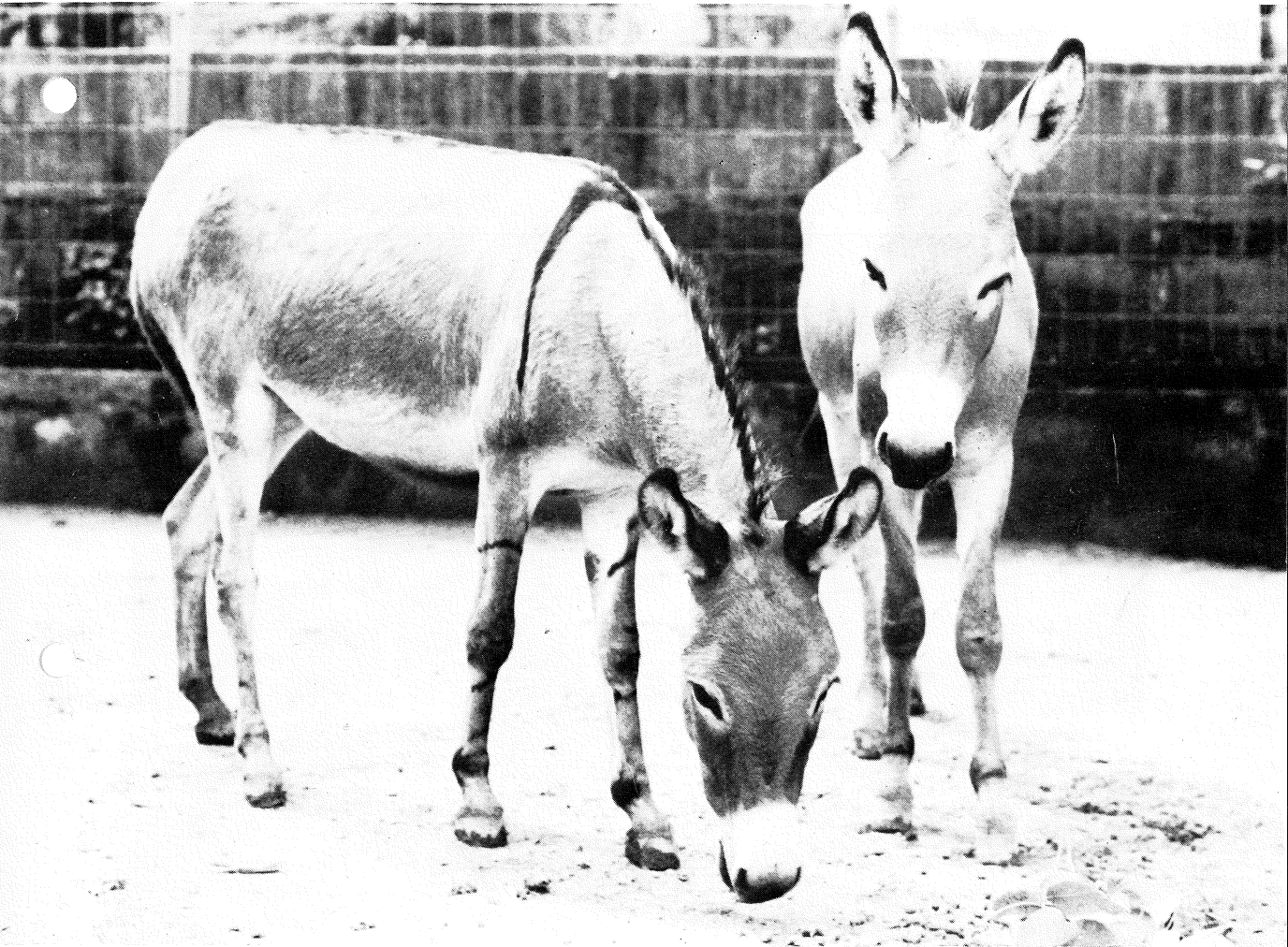


わがかわ

No.24

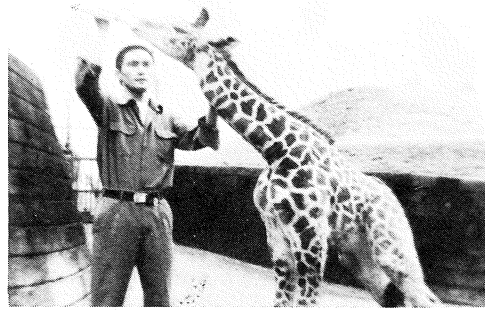
1984年(昭和59年)9月



財団法人

鹿児島市動物公園協会

繁殖動物



キリン (59・2・28生)



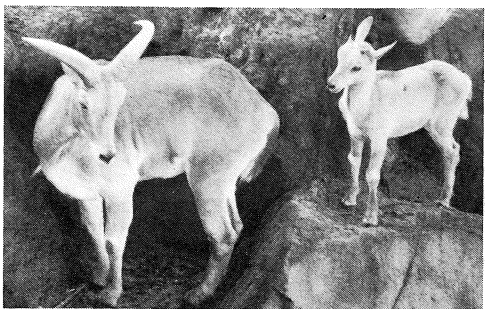
オランウータン (59・5・8生)



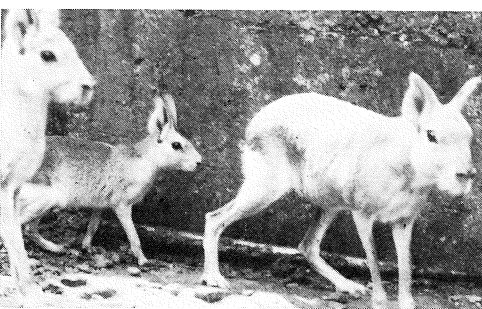
ナベヅル (59・6・8生)



レア (59・6・30生)



バーバリシープ (59・7・18生)



マール (59・7・31生)

表紙

ロバ (Donkey, Ass)

奇蹄目ウマ科

紀元前4000年ごろ、アフリカに分布するソマリノロバを家畜化したものと考えられている。からだは小さいが強健で粗食に耐力も強く、水が乏しい土地でもよく適応する。野生のロバはアジアノロバとアフリカノロバの2種類があるがそれぞれ多くの亜種がある。

行事

9月23日～11月4日 秋の動物公園まつり
 9月23日 一日園長・動物慰霊祭
 9月24日 動物ペット相談所開設
 9月1日～10月31日
 コアラネーミングキャンペーン
 (オーストラリア政府観光局)

飼育動物数 (2019・8 現在)

ほ乳類	79種	374点
鳥類	83種	558点
は虫類	7種	14点
計	169種	946点

動物公園ニュース



ユーカリの試食テスト (2月～4月)

平川動物公園にやって来るコアラに試食させるため鹿児島県のユーカリをオーストラリアのローンパインコアラ園に5回送りましたがいずれもよく食べました。



オーストラリア園整備工事 (3月12日)

コアラ舎建設を含むオーストラリア園の改良整備工事が始まり、動物もこれまでより見やすくなります。



ソデグロツル二世里帰り (3月29日)

繁殖のため昭和52年10月からアメリカの国際ツル財団に預けられているソデグロツルのヒナ・ポーヤングが平川へ贈られました。



鳥相コンクール (5月10日)

愛鳥週間に審査が行なわれ、作品は園内に展示後動物公園をはじめ市内各公園などに付けられ愛鳥運動に寄与しました。



パンダを守ろう (6月24日)

日本ボーイスカウト鹿児島第13団員36名が危機にさらされている中国のパンダを救うため動物公園内で募金活動をしました。



ニホンカモシカを保護 (7月16日)

宮崎県児湯郡の山中でワナにかかり負傷していた国の特別天然記念物ニホンカモシカのメスが運び込まれ治療を受けました。

ハイ！担当は私です



パース市長来園（7月22日）
姉妹都市であるオーストラリア・パース市のマイケル市長夫妻一行が来園し、園内見学後休養広場にユーカリを記念植樹しました。



オーストラリア視察団（8月7日）
オーストラリア政府のオーピントン野生生物局長らがユーカリ林、建設中のコアラ舎などコアラの受入れ準備状況を視察しました。



クィーンズランド州視察団（8月17日）
オーストラリア・クィーンズランド州のレバリー野生生物局長とローンパインコアラ園のロバートソン園長が来園しました。



コアラ舎完成（8月20日）
ガラス張りの屋内飼育室と自然に近い状態の屋外舎に分かれており面積は 950㎡。中央にオーストラリアの紹介コーナーもあります。



サマースクール（8月23・24日）
第12回サマースクールが開校され、小学5・6年生約 100名が直接動物の世話をしたり、動物の話を聞いたりしました。*



シンボルマーク（9月1日）
コアラの来園を記念して動物公園協会がシンボルマークを作りました。コアラに関するパンフレットや商品などに登場する予定です。

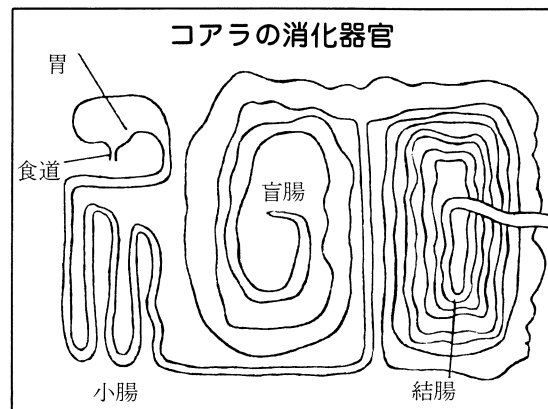


▲ライオン

2年半クマの飼育を担当した後、今年7月からライオンをはじめトラ・ジャガー・クロヒョウなどのいわゆる猛獣類の世話をしています。やはり猛獣類はちょっとの油断も許されないので、毎日神経を使います。このライオンの子は6月4日生まれたのですが、母親が面倒をみなかったので人工哺乳で育てました。当園でまだ生まれたことのないトラの繁殖を是非実現させようと張り切っているところです。

飼育係 中間 剛 技師

ミニ百科



コアラの盲腸

私達人間の盲腸はわずか数cmにすぎないが、牛のは70~80cm、馬のは約1mである。クマやイタチの仲間のように盲腸がないものもある。コアラの盲腸は、あの小さなからだで長さ 250cmもあり、腸の全長の約20%を占めている。これは動物の中で最も長く、食べたユーカリが盲腸を通過するときに、ここに存在する微生物によって分解、消化されるわけである。

オーストラリア・コアラ飼育研修報告

今秋、オーストラリアの代表的動物であり、世界的にも珍しい動物であるコアラの雄2頭が、平川動物公園に来園することが予定されています。コアラ誘致のために鹿児島市では、ほぼ10年前から、コアラの餌となるユーカリの動物公園内外での植栽、獣医師のオーストラリア派遣等を実施してきました。

平川動物公園では、このたびコアラ来園に先がけて、3月1日から4月中旬までの約1ヶ月半の間、飼育係の梶原獣医師、伊地知獣医師、内村技師、牧野技師の4名を現地のロンパイン・コアラ保護区を初めとする各地の動物園等に派遣し、実際にコアラの飼育に当たり、その生態や環境への適応性、ユーカリの採食状況等を観察、調査して来ました。

研修日程

3月1日; 梶原・伊地知両獣医師、鹿児島を出発。

3月2日; ブリスベン到着

3月3日～18日; キーンズランド州内の各地の動物保護区及び動物園等を訪問し、コアラを初めオーストラリアの数多くの動植物を観察・調査。

3月19日～4月2日; ゴールド・コースト内のデビッド・フレイ動物園にてコアラ飼育研修。

4月3日; 内村・牧野両技師、ブリスベン到着。

4月4日; 野生のコアラの生態観察。

4月5日～12日; ロンパイン・コアラ保護区にてコアラ飼育研修及びユーカリ採食実験。

4月12日; 伊地知獣医師・内村技師、帰国。

4月15日; 梶原獣医師・牧野技師、帰国。

また、最大の関心事であったコアラの餌となるユーカリの採食実験に関しては、2月中旬から4月中旬までの約2ヶ月間に、園内のユーカリを5回、現地に空輸し、ロンパインコアラ保護区のコアラに採食させました。

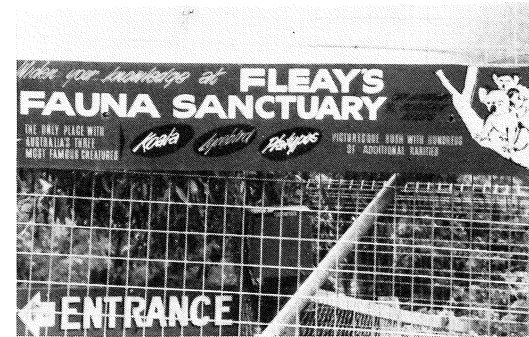
その結果、送った7種のユーカリに関しては、一応にコアラが餌として採食しており、鹿児島産のユーカリで十分に餌として対応していけることが確認されました。今後、コアラが今秋来園するまで、この採食実験は続けて行ない、コアラが来園しても、鹿児島産のユーカリを直ちに餌として採食できるように計画が組まれています。



◀ 面白い体重の測り方



▲ 育児袋の検査も時々行なう



デビッドフレイ動物園入口



鹿児島から送ったユーカリの試食



保定の仕方も上手になった



キーンズランド大学でのコアラ解剖



ロンパインコアラ園入口



ユーカリは1日2回与える



薬浴はなかなかむずかしい



眼の治療も行なった

動物公園の顔



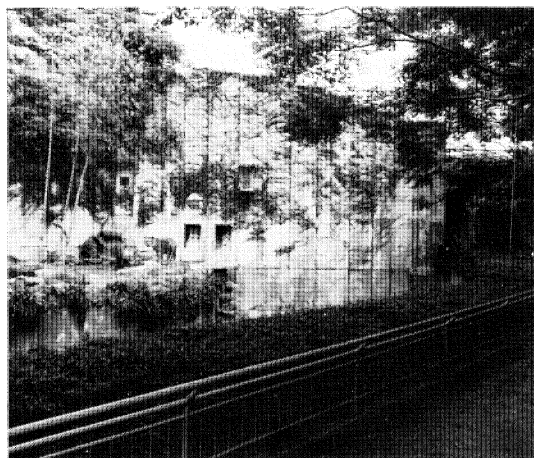
◀シチメンチョウ (Turkey)

キジ目シチメンチョウ科

学名：Meleagris gallopavo

頭から首にかけて青いヒフが裸出しており、はでな赤い肉冠をつけている。家畜として世界中で飼われているが、野生の状態ではアメリカ東南部とメキシコの森林にいただけである。しかし野生のものはだんだん減少している。放浪性のある鳥で1年に何回か大きな群れをつくって不規則な移動を行なう。1腹の卵数は10~15個で約28日間でふ化する。またシチメンチョウ料理は昔からクリスマスの食卓につきものとされている。

●動物公園施設案内●



▲猛獣舎

ライオン・ジャガー・クロヒョウの各部屋とトラの放飼場が並んでいる。このトラ放飼場は幅8mの堀と高さ10mのコンクリート壁で囲まれ、もうそう竹とつたの緑が美しく当園自慢の動物舎のひとつである。中央の池では水浴びをするトラの姿を見ることもある。



▲フライングケージ

トラ放飼場前から長さ20mのトンネルを抜けると鳥類の楽園がある。亜熱帯植物が茂り、面積2,000㎡のフライングケージ内を約30種200羽の鳥が飛び交っている。ここでヘラサギ・セイケイ・カンムリバト・カワウ・カモなどが自然ふ化している。

表紙題字

鹿児島市長 山之口安秀

ひらかわ No.24 昭和59年9月15日発行 第24号
発行所 鹿児島市動物公園協会
〒891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎0992(61)2326~8
発行者 鹿児島市動物公園協会理事長 山之口 安秀
編集者 鹿児島市平川動物公園長 川畑 純徳

撮影：梶原純一・酒匂猛